

書き込み年表 advanced ②、古代ギリシア(アレクサンドロスの大征服まで)

	平地が少なく、穀物の栽培に不向き、オリーブ・果物(ぶどうなど)栽培盛ん エーゲ海に面し、海運に適する 交易により穀物輸入、沿岸にポリス(都市国家)形成 → 個人の自由を重んじる文化 民主制(市民が政治に参加) ポリスを市民で守る(重装歩兵) 兵役=参政権(武器を市民が購入) → 共同体意識	
紀元前 2000頃	クレタ文明始まる	クノッソス中心、海洋動物の壁画 王宮に城壁がない
16世紀 頃	アカシア人 ミケーネ文明始まる (トロヤ文明)	インド=ヨーロッパ語族 石造りの城壁、王の墳墓 墳墓から黄金製品大量に発見
15世紀 1200頃	ミケーネ勢力、クレタに侵入 ミケーネ文明滅亡	エヴァンズ発掘 線文字A未解読 シュリーマン発見 線文字B、ヴェントリス解読
8世紀	ポリスの形成始まる ギリシア人、植民活動を展開	ドーリア人(鉄器使用) (アカシア人の系統) ギリシア人意識(ポリス共通) イオニア人(アテネなど) アイオリス人(テーベ) ヘレネス(ギリシア人)=英雄ヘレンの子孫 バルバロイ(異民族)=聞き苦しい言葉話す者 アポロンの神託を聞く オリンピア競技
700		スパルタ ドーリア人が先住民を征服、穀物自給が可能な地域 リュクルゴスの制度(軍国的、鎖国的国家)、一部の市民による支配 ヘーロイタイ(農業奴隷、先住民)、ペリオイコイ(「周辺の民」、参政権なし)
600	ドラコンの成文法(621~620)	ギリシア最初の成文法 貴族の慣習による裁判を制度化
	ソロン(594)	財産政治:身分を4階級に分け、それぞれ参政権と兵役の義務を定める 負債の帳消し、債務奴隷の禁止(債務奴隷=貧しい平民と家族が負債のために奴隷に)
	ペイシストラトスの僭主政治(前6世紀半ば)	貧困層の支持を得て、革命を起こす 土地を貧農に分配 子が暴君となり追放される
	クレステネスの改革(508)	4部族制から10部族制に: 貴族、富裕層、貧困層を10の地域に分け、まとめる 五百人評議会の設置: 民会で決める法案を事前に審議、各部族50名ずつ 陶片追放(オストラシズム): 僭主の出現を防止、投票により危険人物を追放
500	ペルシア戦争(500~)	ペルシア(アケメネス朝)軍にフェニキア海軍が応援
	マラ톤の戦い(490)	対ダレイオス1世(ペルシア)、重装歩兵で対抗
	テルモピレーの戦い(480)	スパルタ軍苦戦
	サラミスの海戦(480)	三段櫂船使用、サラミス湾に逃げ込みアテネ勝利
	プラタイアの戦い(479)	ギリシアとフェニキア人との地中海の覇権の争い
	デロス同盟成立(479)	アテネ中心 対ペルシア同盟 やがてアテネの権力が強大に 三段櫂船の漕ぎ手の無産市民(貧困層)の発言力が増す
	ペリクレス時代(443~429)	下層市民に配慮(役職をくじで選ぶ) 将軍は民会で選出、連年で可能(ペリクレス通年で将軍に)
	ペロポネソス戦争(431~)	ペロポネソス同盟: スパルタ中心、やがてアテネ中心のデロス同盟に対抗
		アテネ市民城壁内に結集 → 疫病流行(人口 2/3 に、ペリクレス病死)
400	アテネ降伏(404)	デマゴーゴス(扇動政治家)の出現、衆愚政治に
	レウクトラの戦い(371)	テーベ 対 スパルタ ← テーベの台頭
	カイロネイアの戦い(338)	マケドニア フィリッポス2世
	コリントス同盟成立(337)	マケドニアによるギリシア支配 アレクサンドロス(大王)
	アレクサンドロスの東方遠征	
	イッソスの戦い(333)、アルベラの戦い(331)	フェニキア人の中心都市ティルスを破壊 → 地中海沿岸の覇権狙う
	アケメネス朝滅亡(330)	各地に都市(アレクサンドリア)建設 → ギリシャ人の貧農移住
	アレクサンドロス、インダス流域に侵入(327頃)	ヘレニズム文化、東方(中東、中央アジア)に浸透
	アレクサンドロス死去(323)	
300	王国3分割	
	プトレマイオス朝(エジプト)	セレウコス朝(シリア、イラン)
	アレクサンドリアにムセイオン(研究所) (アルキメデス、エウクレイデスなど)	アンティゴノス朝(マケドニア)
	ヘレニズム文化の最盛期	パルティア(イラン高原) バクトリア(アフガニスタン) ヘレニズム文化東方へ → ガンダーラ美術など